

**2020年3月期決算  
(2019年4月～2020年3月)**

# **決算説明会**

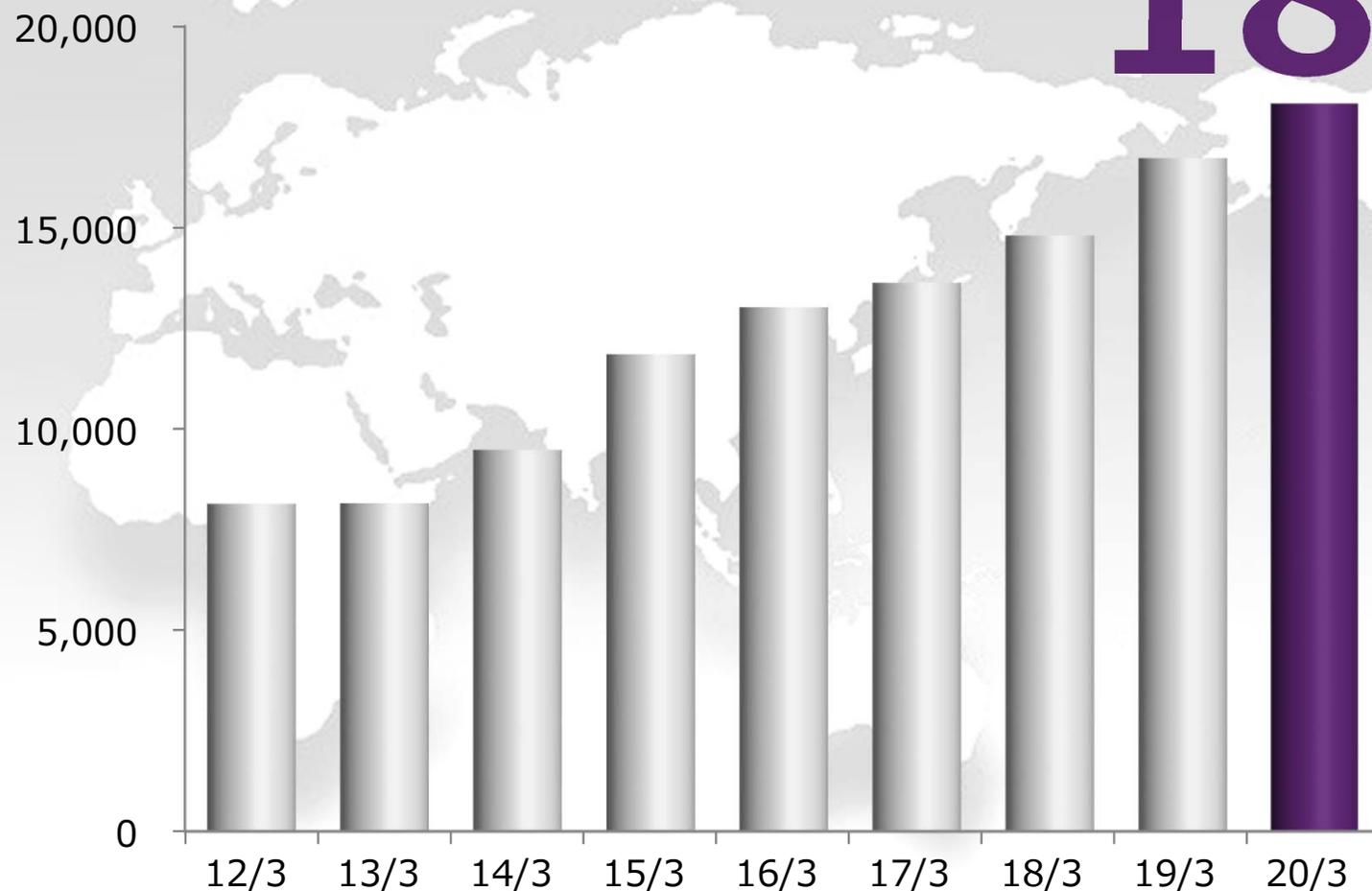
**2020年5月12日**

**株式会社日本エム・ディ・エム**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 連結売上高推移

(単位：百万円)



**180**億円

過去最高

更新

8年連続

増収

# 連結損益計算書

(単位：百万円、%)	20年3月期		前期比増減		19年3月期	
	実績	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
<b>売上高</b>	<b>18,083</b>	<b>100.0</b>	<b>+1,354</b>	<b>+8.1</b>	<b>16,728</b>	<b>100.0</b>
売上原価	5,278	29.2	+361	+7.4	4,916	29.4
販管費	10,159	56.2	+582	+6.1	9,576	57.2
<b>営業利益</b>	<b>2,644</b>	<b>14.6</b>	<b>+409</b>	<b>+18.3</b>	<b>2,234</b>	<b>13.4</b>
<b>経常利益</b>	<b>2,581</b>	<b>14.3</b>	<b>+373</b>	<b>+16.9</b>	<b>2,208</b>	<b>13.2</b>
<b>当期純利益※</b>	<b>2,164</b>	<b>12.0</b>	<b>+180</b>	<b>+9.1</b>	<b>1,984</b>	<b>11.9</b>

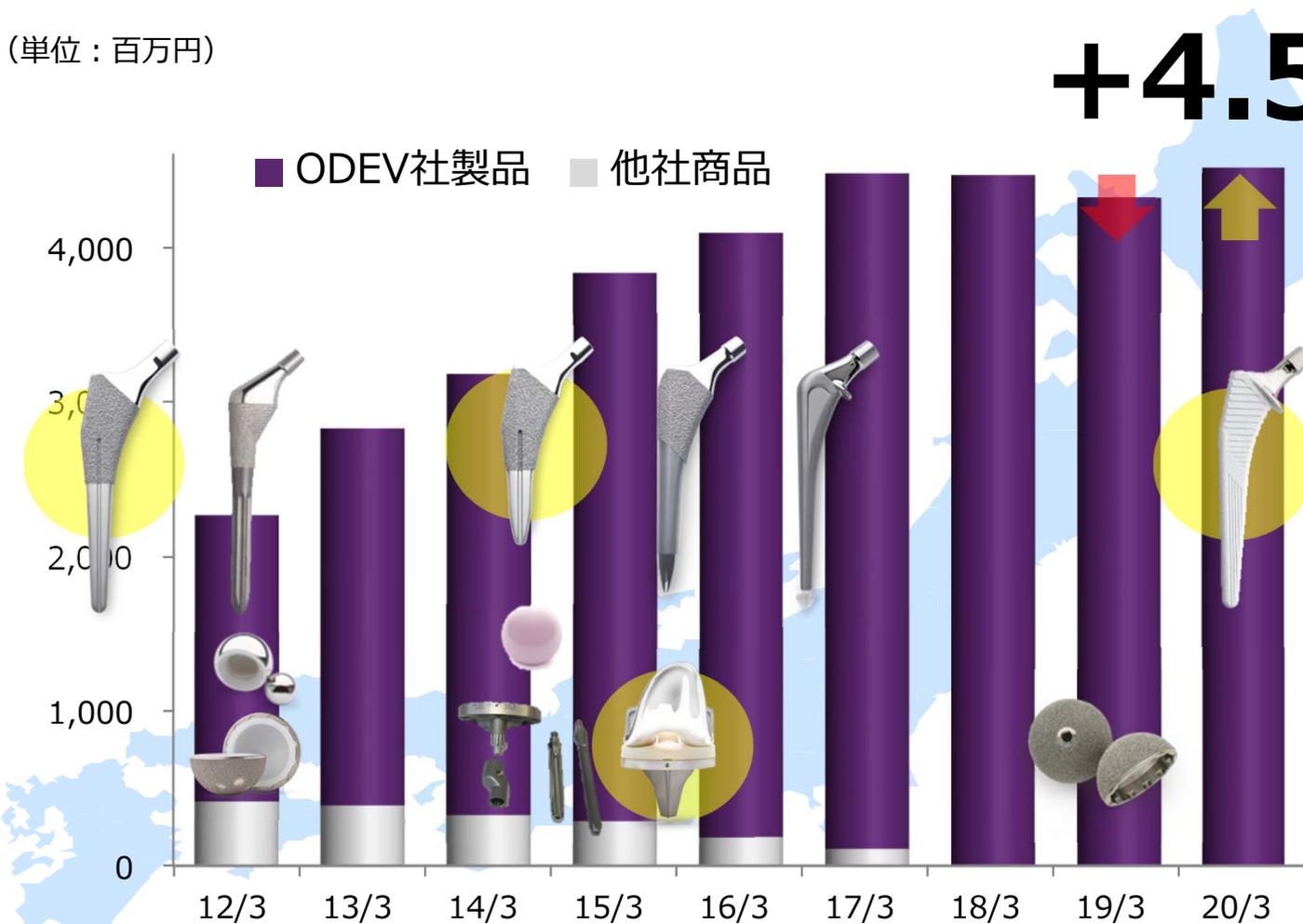
※親会社株主に帰属する当期純利益

# 主要品目別連結売上高明細

(単位：百万円、%)	20年3月期		前期比増減		19年3月期	
	実績	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
<b>日本国内販売</b>	<b>10,921</b>	<b>60.4</b>	<b>+759</b>	<b>+7.5</b>	10,162	60.7
人工関節	4,516	25.0	+192	+4.5	4,323	25.8
骨接合材料	3,760	20.8	+160	+4.5	3,599	21.5
脊椎固定器具	2,211	12.2	+317	+16.7	1,894	11.3
人工骨	249	1.4	+34	+16.0	215	1.3
その他	183	1.0	+54	+42.8	128	0.8
<b>米国販売※</b>	<b>7,161</b>	<b>39.6</b>	<b>+594</b>	<b>+9.1</b>	6,566	39.3
人工関節	7,126	39.4	+599	+9.2	6,526	39.0
脊椎固定器具	34	0.2	▲5	▲13.6	40	0.2
<b>合計</b>	<b>18,083</b>	<b>100.0</b>	<b>+1,354</b>	<b>+8.1</b>	16,728	100.0
<b>自社製品売上高</b>	<b>15,022</b>	<b>83.1</b>	<b>+651</b>	<b>+4.5</b>	14,371	85.9
<b>※ドルベース(千ドル)</b>	<b>65,633</b>		<b>+6,312</b>	<b>+10.6</b>	59,320	
※換算レート(円)	109.11		▲1.59	▲1.4	110.70	

# 日本国内売上【人工関節】推移

(単位：百万円)



+4.5%

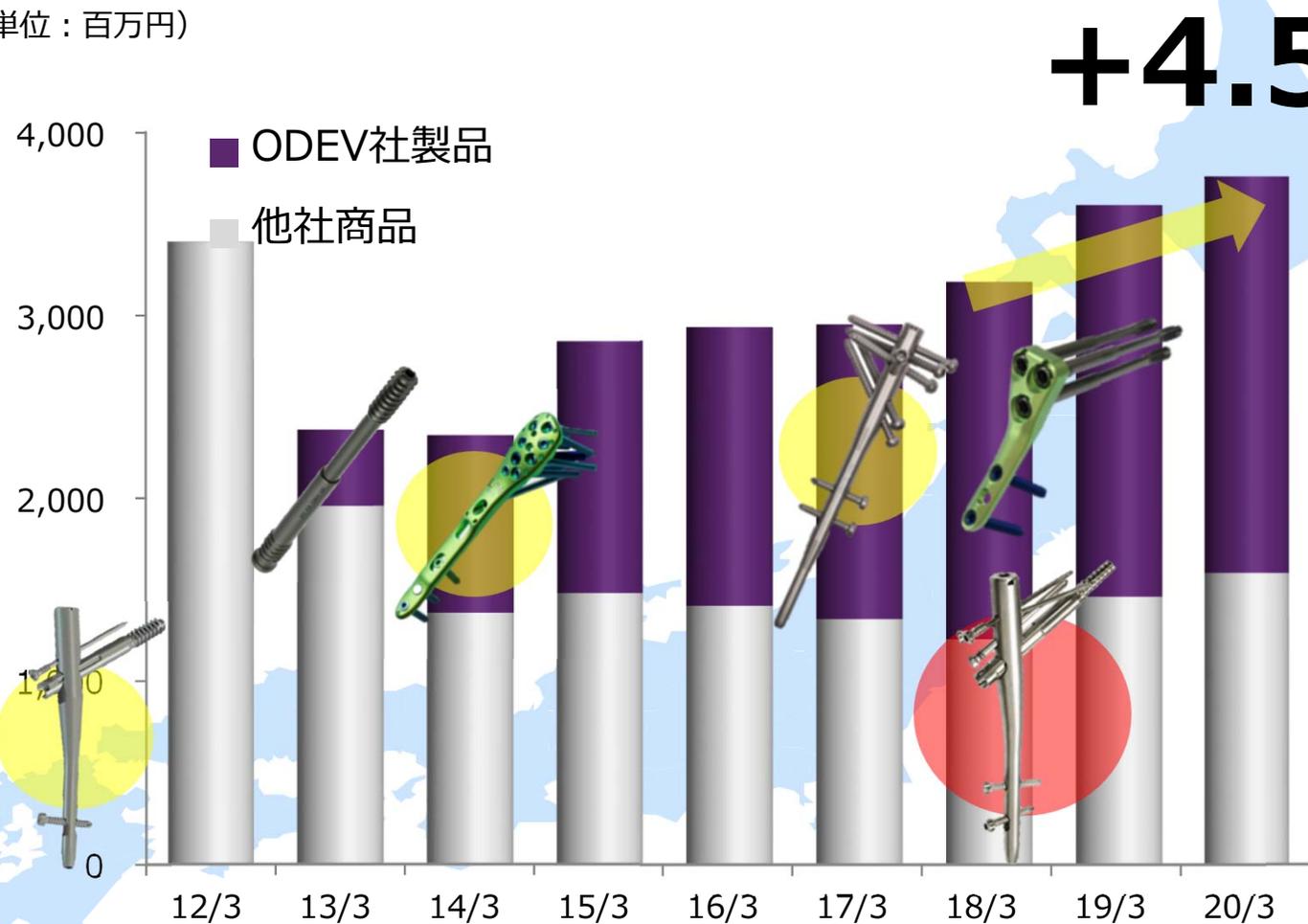
**新製品  
再成長  
THA※牽引**  
(※人工股関節置換術)

 **日本エム・ディ・エム**

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING 5

# 日本国内売上【骨接合材料】推移

(単位：百万円)



+4.5%

成長堅持

ASULOCK

▲在庫不足

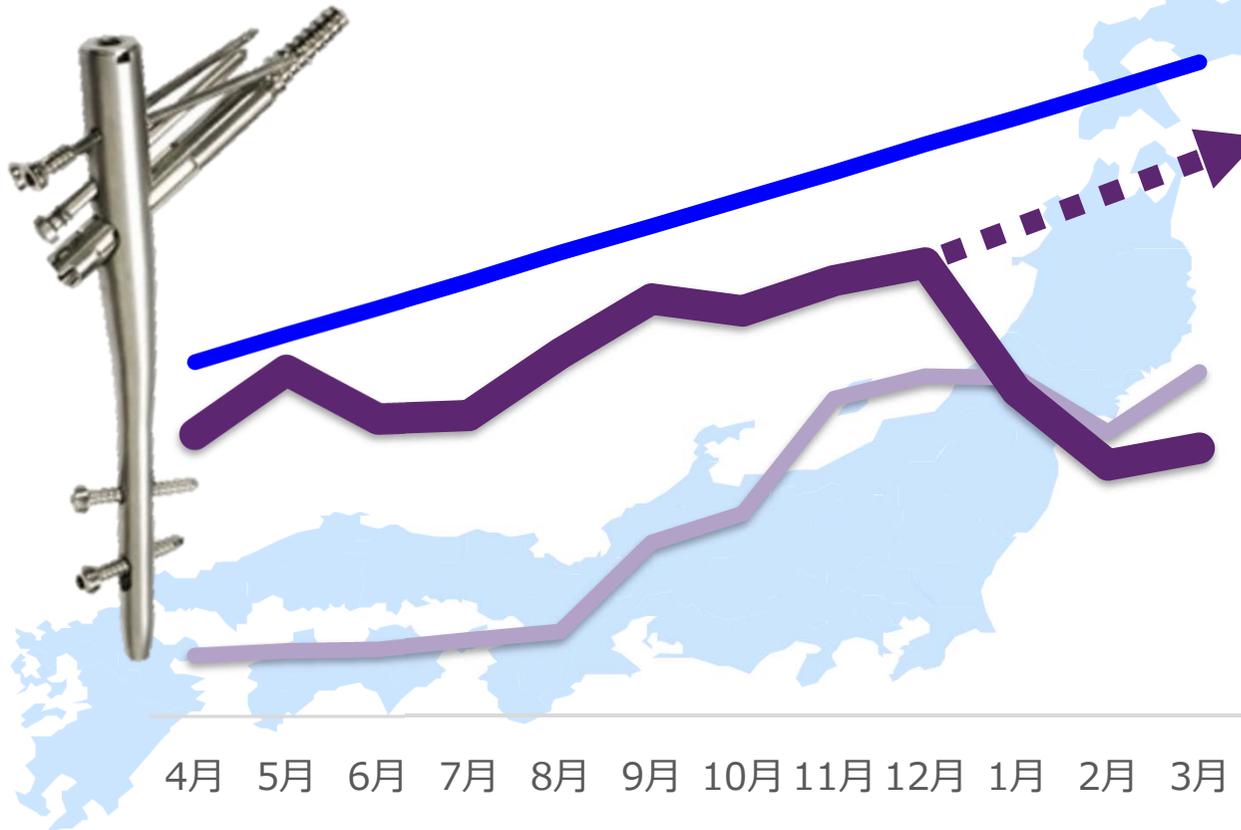
▲暖冬影響

日本エム・ディ・エム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

# 日本国内売上【骨接合材料：ASULOCK】推移

— 19/3 — 20/3 — 20/3計画イメージ



# ASULOCK

## 出荷制限

製造元の製造能力、在庫不足

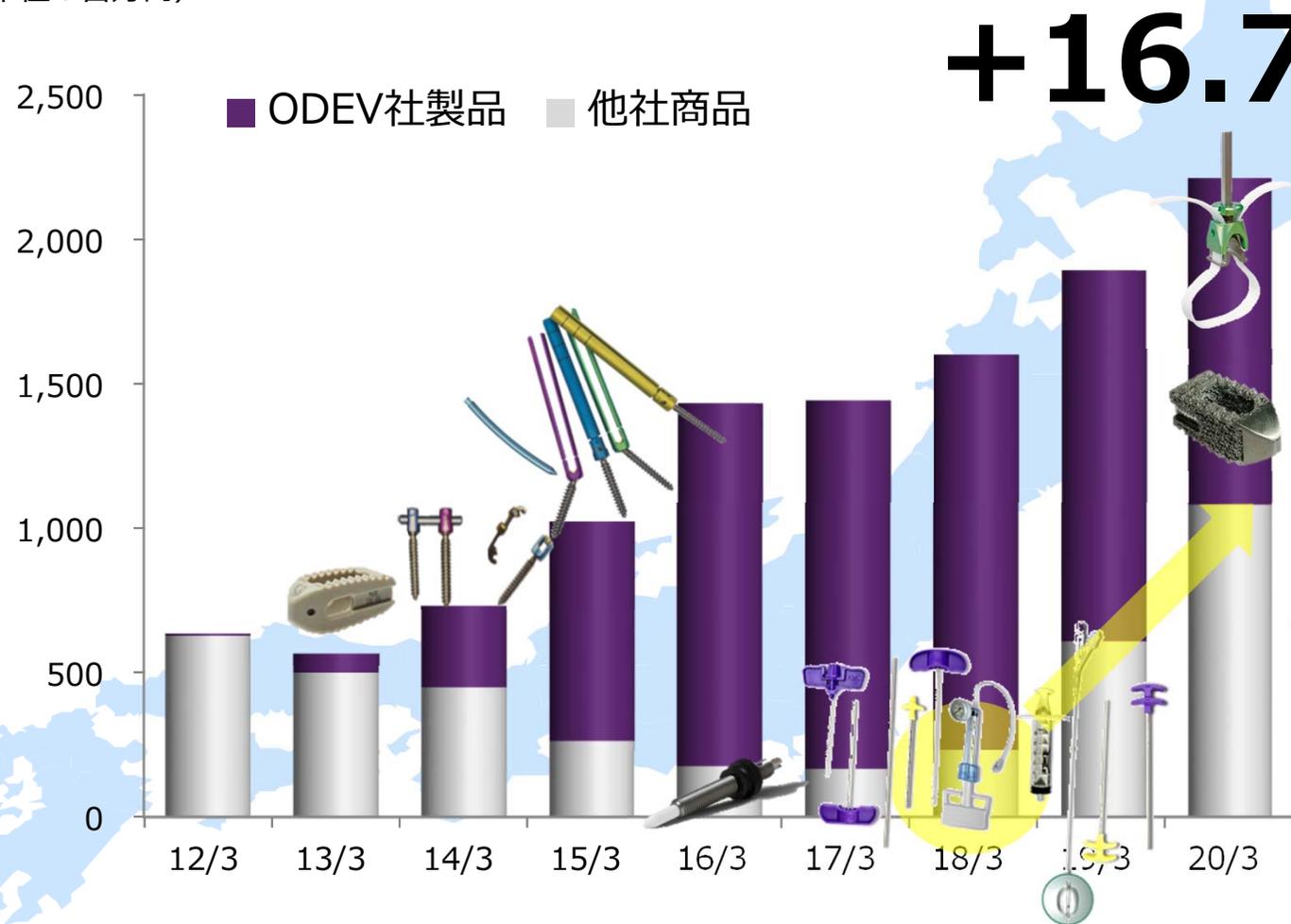
21/3 下半期 問題解決へ

 **日本エム・ディ・エム**

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

# 日本国内売上【脊椎固定器具】推移

(単位：百万円)



+16.7%

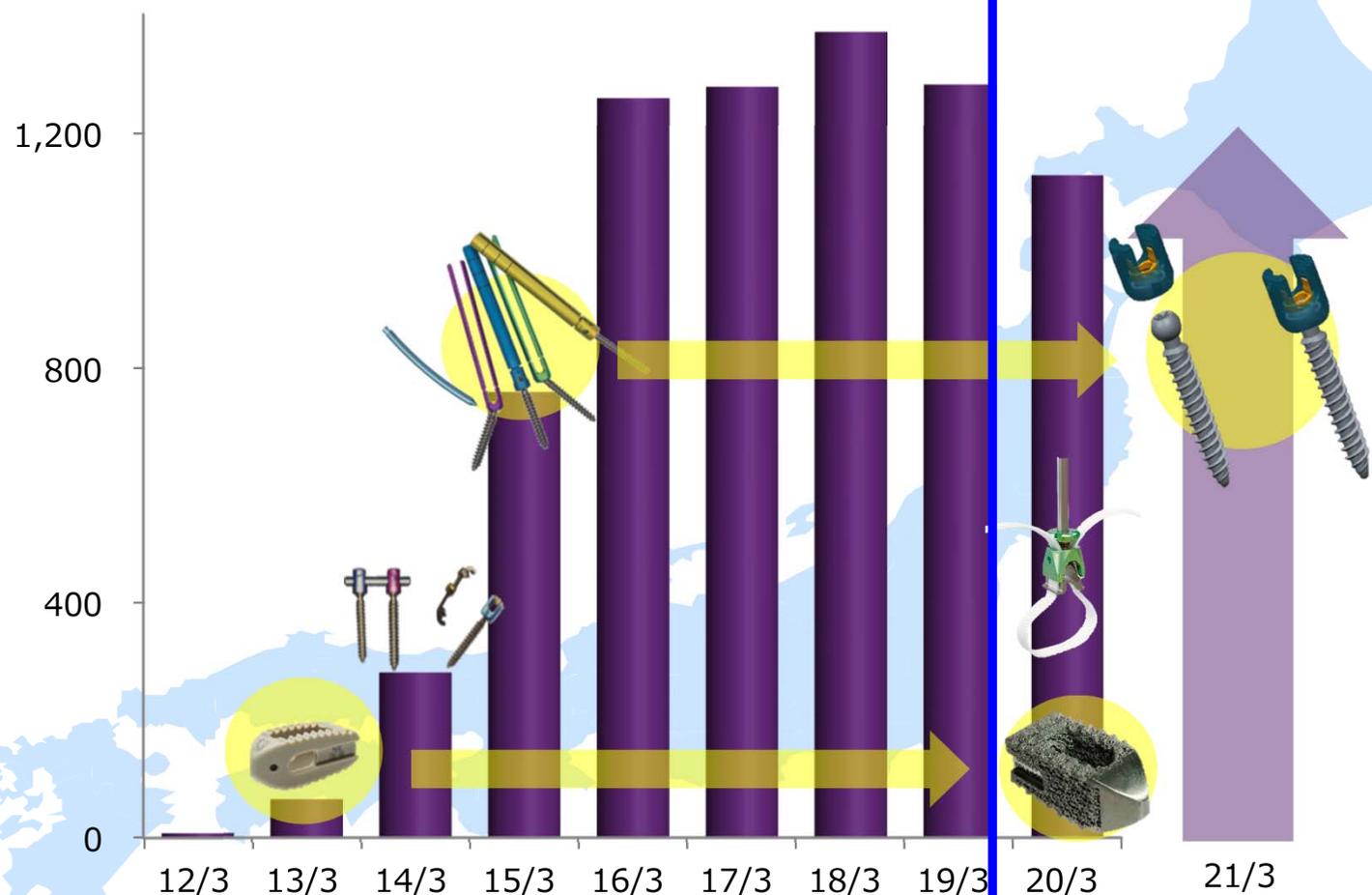
**高成長**  
**他社商品**  
**成長牽引継続**

 **日本エム・ディ・エム**

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

# 日本国内売上【脊椎固定器具：自社製品】推移

(単位：百万円)



**自社  
新製品  
継続投入  
再成長期待**

# 脊椎固定器具新製品「Pisces スパイナル システム」

## 脊椎固定器具新製品 「Pisces スパイナル システム」 薬事承認取得及び販売開始

脊椎固定器具製品の販売拡大を期待  
(2020年9月から順次販売予定)

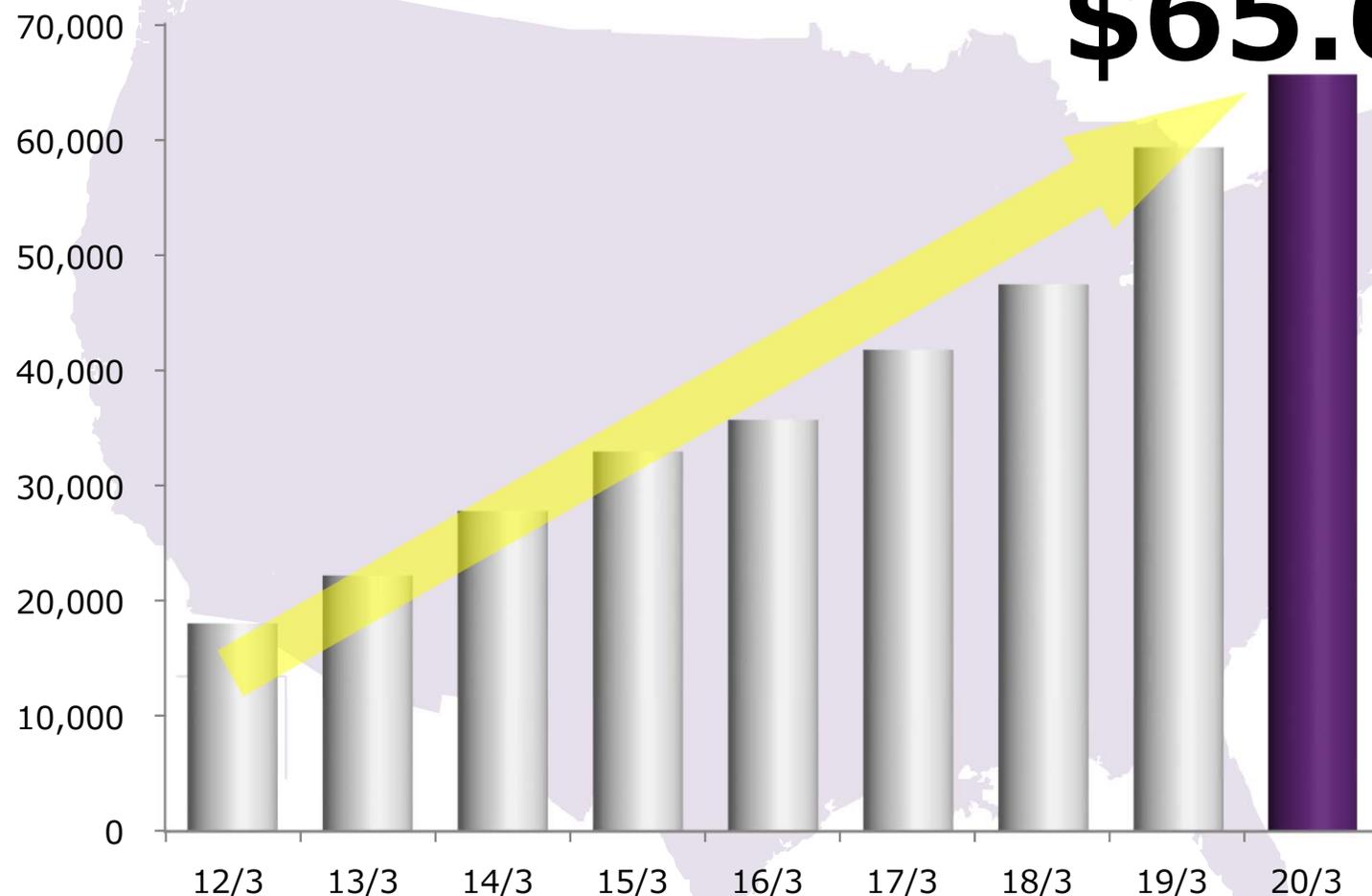
ヘッド部分とスクリューパーツを手術時に組み上げる汎用性の高い**マルチプルシステム**を採用することで、様々な胸腰椎疾患症例に対し多種多様な治療オプションの提供が可能となり、高度化・多様化する医療従事者の治療ニーズに対応することが可能。

ODEV社製  
「Pisces スパイナル システム」



# 米国市場 売上高推移

(単位：千ドル)



**\$65.6M**

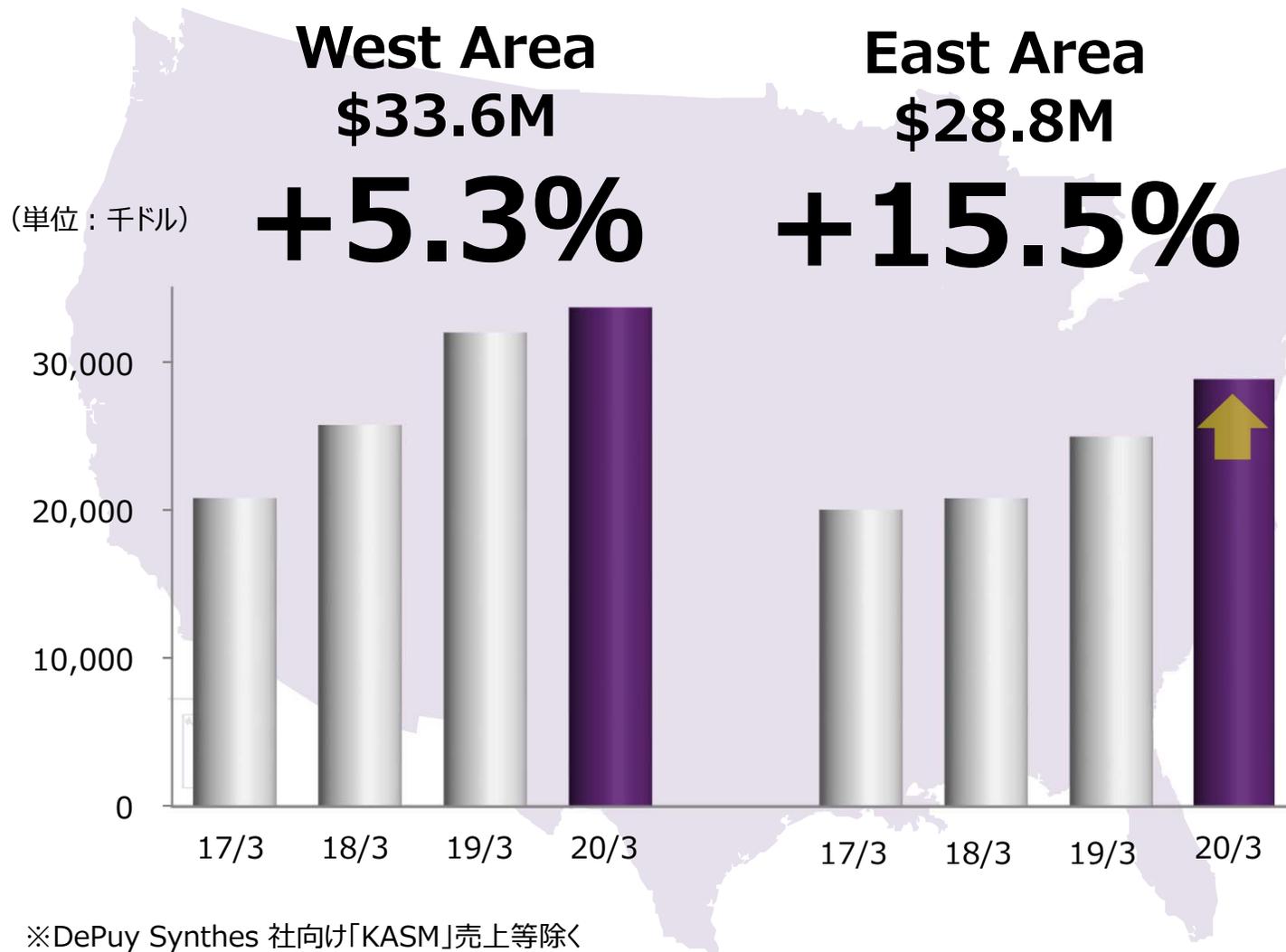
**+10%**

**過去最高**

**COVID-19の  
影響大**



# 米国売上【人工関節・地域別】推移



East Area  
**高成長**  
**成長牽引**



※DePuy Synthes 社向け「KASM」売上等除く

# 米国売上【人工関節・製品別】推移

股関節【Hip】

\$24.4M

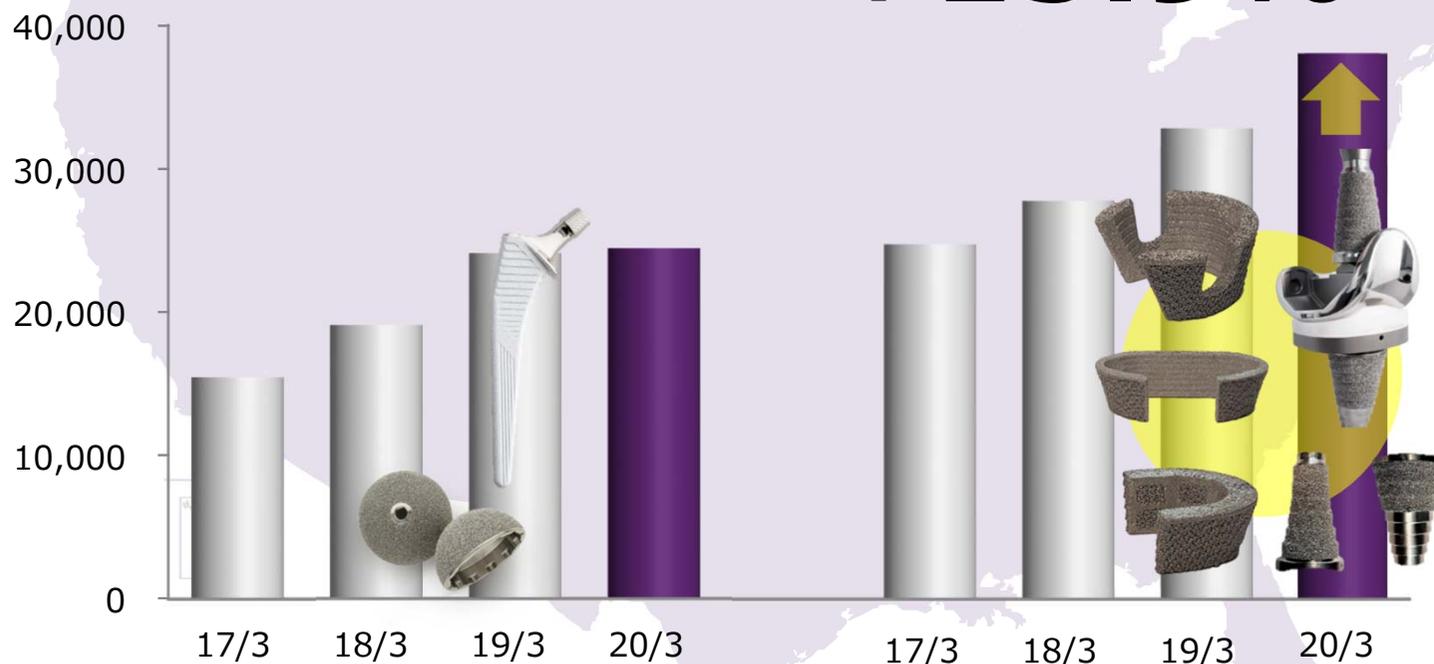
+1.4%

膝関節【Knee】

\$38.0M

+15.9%

(単位：千ドル)



膝関節  
新製品  
Cones & Sleeves  
成長牽引



※DePuy Synthes 社向け「KASM」売上等除く

# 前期営業利益比較分析

(単位：百万円)



# 予想値（修正後）対比

売上高は、第4四半期に日本国内でASULOCKの在庫不足により繁忙期に出荷制限せざるを得なかった事、米国で新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの手術が延期または中止になった事等から、前回予想を下回り、営業利益及び経常利益も前回予想を下回った。当期純利益は、繰延税金資産を追加で計上した事から、前回予想を上回った。

(単位：百万円、%)	20年3月期		予想値比増減		20年3月期	
	実績	売上比	増減額	増減率	予想値	売上比
<b>売上高</b>	<b>18,083</b>	<b>100.0</b>	 <b>△666</b>	<b>△3.6</b>	<b>18,750</b>	<b>100.0</b>
<b>営業利益</b>	<b>2,644</b>	<b>14.6</b>	 <b>△205</b>	<b>△7.2</b>	<b>2,850</b>	<b>15.2</b>
<b>経常利益</b>	<b>2,581</b>	<b>14.3</b>	 <b>△188</b>	<b>△6.8</b>	<b>2,770</b>	<b>14.8</b>
<b>当期純利益※</b>	<b>2,164</b>	<b>12.0</b>	 <b>+114</b>	<b>+5.6</b>	<b>2,050</b>	<b>10.9</b>

※親会社株主に帰属する当期純利益

# 新型コロナウイルス感染症影響



## 日本国内

### • 営業活動：

- 病院への立入制限（新規営業活動が大幅に制限）
- Educationプログラム、学会等の中止

### • 手術件数：

日本整形外科学会による感染症対策ガイドライン

- 早期治療を必要とする手術：外傷・解放骨折など
- 延期を検討する手術：人工関節置換術、待機できる脊椎手術など
- 延期すべき手術：生命を脅かすことがない関節鏡手術など

21/3上半期は、当社の製品が治療に使われる手術件数の減少を見込む。



日本エム・ディ・エム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING 16

# 新型コロナウイルス感染症影響



## 米国

### • 手術件数への影響：

2020年3月中旬、米国政府は新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン発表  
緊急性のない手術（Elective Surgery）の回避を病院へ指示  
人工関節置換術は、米国全体で減少している。

- ・27州で「禁止」（法規制、5月1日～6月15日まで）
- ・23州で「勧告」となり、手術の実施は病院判断

21/3 上半期は、当社の製品が治療に使われる手術件数の減少を見込む。

### • 生産への影響：

外部ベンダーのうち2～3社で一定期間の生産停止等あったが、現状、大きな問題は生じていない。



# 【業績予想】連結損益計算書

(単位：百万円、%)	21年3月期		前期比増減		20年3月期	
	予測値	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
<b>売上高</b> ※1	<b>17,800</b>	<b>100.0</b>	△ 283	△ 1.6	18,083	100.0
売上原価	5,300	29.8	+21	+0.4	5,278	29.2
販管費	10,300	57.9	+140	+1.4	10,159	56.2
<b>営業利益</b>	<b>2,200</b>	<b>12.4</b>	△ 444	△ 16.8	2,644	14.6
<b>経常利益</b>	<b>2,100</b>	<b>11.8</b>	△ 481	△ 18.7	2,581	14.3
<b>当期純利益</b> ※2	<b>1,600</b>	<b>9.0</b>	△ 564	△ 26.1	2,164	12.0

※1 新型コロナウイルス感染症の影響による売上高減少額 **▲21億円** (日本国内販売▲7億円、米国販売▲14億円) ※2 親会社株主に帰属する当期純利益

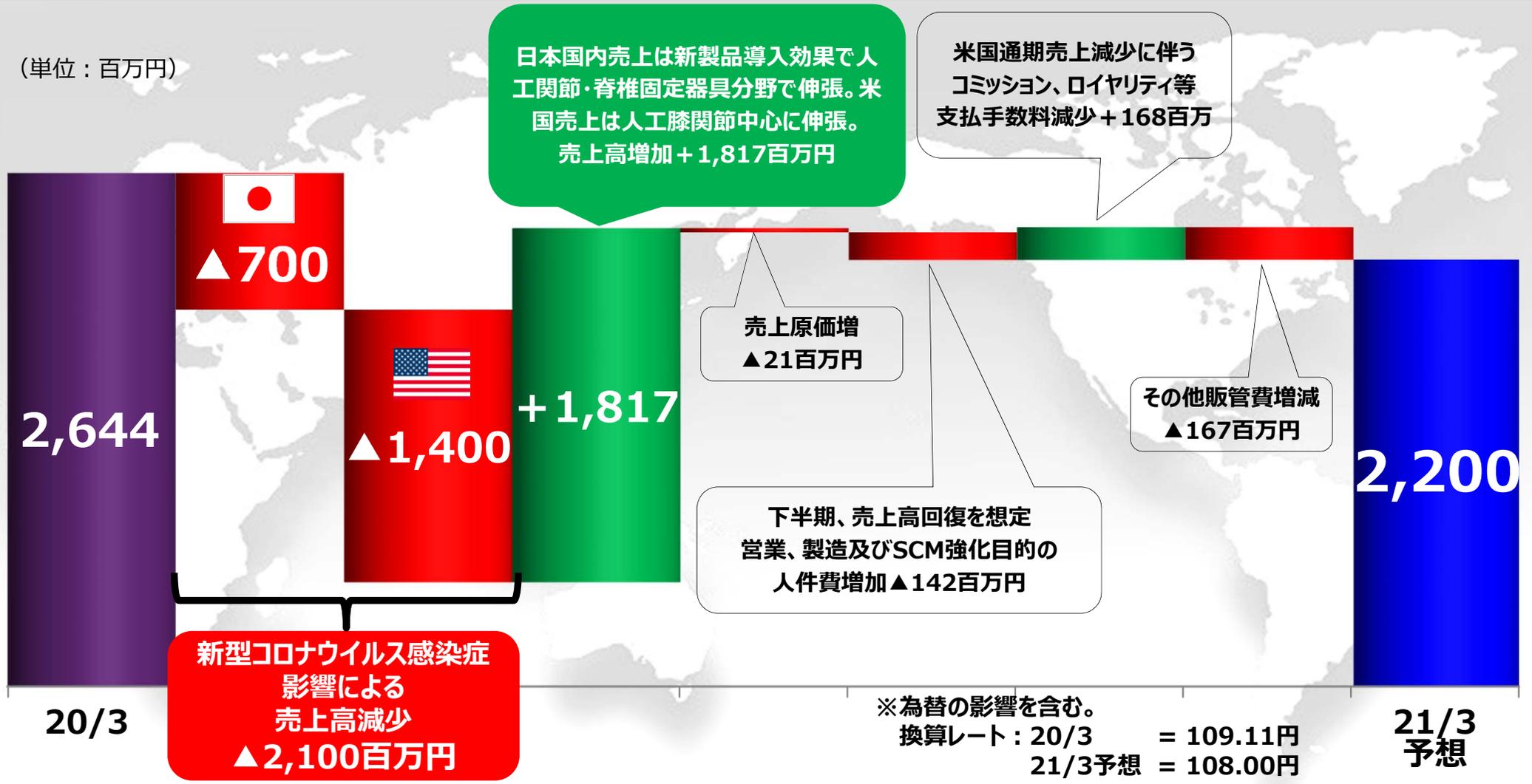
# 新型コロナウイルス感染症影響

## 前提条件

	Q1	Q2	下半期
 <b>日本国内</b>			
人工関節			
人工膝・股関節置換術	▲40%~0%		上半期中に新型コロナ ウイルス感染症が 収束するとの想定 のもと、下半期は症 例数が回復すると 仮定
人工骨頭置換術	▲15%~0%		
骨接合材料・その他	▲15%~0%		
脊椎固定器具	▲40%~0%		
 <b>米国</b>			
人工関節			
人工膝・股関節置換術	▲90%~▲30%	▲25%~0%	同上

# 【業績予想】営業利益比較分析

(単位：百万円)



# 【業績予想】連結損益計算書（上半期・下半期）

	21年3月期 上半期		前期比増減		21年3月期 下半期		前期比増減	
		増減額	増減率		増減額	増減率		
(単位：百万円、%)								
<b>売上高</b>	<b>7,100</b>	<b>△1,682</b>	<b>△19.2</b>		<b>10,700</b>	<b>+1,399</b>	<b>+15.0</b>	
売上原価	2,200	△334	△13.2		3,100	+355	+13.0	
販管費	4,740	△242	△4.9		5,560	+382	+7.4	
<b>営業利益</b>	<b>160</b>	<b>△1,106</b>	<b>△87.4</b>		<b>2,040</b>	<b>+661</b>	<b>+48.0</b>	
<b>経常利益</b>	<b>130</b>	<b>△1,093</b>	<b>△89.4</b>		<b>1,970</b>	<b>+611</b>	<b>+45.0</b>	
<b>四半期純利益※</b>	<b>80</b>	<b>△842</b>	<b>△91.3</b>		<b>1,520</b>	<b>+277</b>	<b>+22.3</b>	

※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 【業績予想】主要品目別連結売上高明細

(単位：百万円、%)	21年3月期		前期比増減		20年3月期	
	予測値	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
<b>日本国内販売</b>	<b>11,220</b>	<b>63.0</b>	<b>+298</b>	<b>+2.7</b>	10,921	60.4
人工関節	4,740	26.6	+223	+4.9	4,516	25.0
骨接合材料	3,740	21.0	△ 20	△ 0.5	3,760	20.8
脊椎固定器具	2,370	13.3	+158	+7.2	2,211	12.2
人工骨	240	1.3	△ 9	△ 4.0	249	1.4
その他	130	0.7	△ 53	△ 29.1	183	1.0
<b>米国販売※</b>	<b>6,580</b>	<b>37.0</b>	<b>△ 581</b>	<b>△ 8.1</b>	7,161	39.6
人工関節	6,580	37.0	△ 546	△ 7.7	7,126	39.4
脊椎固定器具	-	-	△ 34	△ 100.0	34	0.2
<b>合計</b>	<b>17,800</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 283</b>	<b>△ 1.6</b>	18,083	100.0
<b>自社製品売上高</b>	<b>14,700</b>	<b>82.6</b>	<b>△ 322</b>	<b>△ 2.1</b>	15,022	83.1
<b>※ドルベース(千ドル)</b>	<b>60,925</b>		<b>△ 4,707</b>	<b>△ 7.2</b>	65,633	
※換算レート(円)	108.00		△ 1.11	△ 1.0	109.11	

# 中計「MODE2020」進捗レビュー

2期目で3期目目標を凡そ1年前倒しで達成し好調に推移したが、3期目（最終年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響(▲21億円の減収要因)により達成困難。未達差異縮小を図る。

(単位：百万円)	19年3月期		20年3月期		21年3月期	
	実績/目標	百分比	実績/目標	百分比	予想/目標	百分比
売上高	16,728 /15,750		18,083 /17,000		17,800 /18,700	
営業利益	2,234 /2,250	13.4% /14.3%	2,644 /2,450	14.6% /14.4%	2,200 /2,800	12.4% /15.0%
経常利益	2,208 /2,100	13.2% /13.3%	2,581 /2,300	14.3% /13.5%	2,100 /2,600	11.8% /13.9%
当期純利益※	1,984 /1,500	11.9% /9.5%	2,164 1,650	12.0% /9.7%	1,600 1,900	9.0% /10.2%
自己資本利益率	14.0% /11.3%		13.5% /11.4%		9.5% /12.3%	

※親会社株主に帰属する当期純利益

※「MODE2020」想定レート：106円、19/3実績：110.70円、20/3実績：109.11円、21/3実績：108円

## 参考：設備投資等推移

(単位：百万円)	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想
<b>設備投資</b>	1,884	1,107	995	2,075	1,812	<b>1,800</b>
<b>減価償却費※</b>	893	930	1,014	1,159	1,385	<b>1,400</b>
<b>研究開発費</b>	476	480	594	484	470	<b>530</b>

※製造原価算入の減価償却費を含むため、損益計算書上の「減価償却費」とは一致しておりません。



日本エム・ダイ・エム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING



ORTHO

DEVELOPMENT®